

～ 「新型コロナウイルス感染症」後の新しいパラダイムで  
「自己保健能力」の高い学生人材輩出 と これからの健康経営を  
マーケティング視点で考える産学連携プロジェクト～

『大学対抗「健康」×「マーケティング」コンペティション』開催のお知らせ

人生100年時代を迎え、70歳またはそれ以上まで働くことが当たり前の社会での個人の健康維持・増進能力、いわゆる自己保健能力は、超高齢社会を生き抜く上での必須能力となってきました。特に、未来の社会を担う若年層、社会へ出る前の学生から自己保健能力の開発が望まれます。

一方、社会として受け入れる企業にとって「健康経営」の概念は、大企業の多くで採り入れる動きがあるものの、「健康経営」をどう活かしていくか、不明瞭でもあり、個別課題となっています。そして、「新型コロナウイルス感染症」が新たな課題を突きつけてきました。

そこで、「健康経営」の企業固有の課題に対し、新型コロナウイルス感染症によってもたらされた新たなパラダイムで、自己保健能力を身につけていながら、それをどう企業活動に結びつけるのが良いのかマーケティング視点で、就職を見据えた大学生、サポートする大学講師陣と連携し解決策を幅広く模索するオープンイノベーションの場となる、ピッチコンペティションを開催します。

### 実施概要

● **主催**

一般社団法人 社会的健康戦略研究所

● **後援**

株式会社 朝日新聞社

● **協力**

一般社団法人 日本健康生活推進協会（健康マスター検定協会）【教育コンテンツ】

コードブック株式会社【運動コンテンツ】

株式会社トラヴォス【コンテンツインテグレーション】

## ● プログラム

### (1) ピッチコンペティション

参加企業から「健康」と「マーケティング」をマッチングさせるための個別課題を参加大学ゼミへ提示

選択課題毎に解決策を検討、最後に参加ゼミ単位でのピッチを行い、参加企業による審査

### (2) 自己保健能力向上プログラム

自己保健の自己確認から、課題解決策へ反映

参加大学ゼミ生は、課題検討期間中8週間、本プロジェクト専用の自己保健能力向上プログラム（教育と運動）をLINEで実施

### (3) アワード

最後に、参加企業賞、自己保健能力向上プログラム修了認定など表彰

## ● スケジュール

2020年7月10日 17時

オリエンテーション

参加大学ゼミへ、参加企業課題発表をオンラインで実施予定

自己保健能力向上プログラムをオンライン配布

2020年11月上旬

ピッチイベント、各種結果発表

## ● 参加企業

5社（今後増える可能性があります 2020年6月24日時点）

株式会社イトーキ

第一生命保険株式会社

株式会社ハローデイホールディングス

株式会社丸井グループ

三井住友海上火災保険株式会社

（五十音順）

## ● 参加大学

### 13 大学 16 ゼミ（ゼミ指導教官）

北海道	小樽商科大学	商学部	（鈴木准教授）
	小樽商科大学	商学部	（近藤教授 副学長）
東北	山形大学	人文社会学部	（兼子准教授）
関東	青山学院大学	経営学部	（石井准教授）
	専修大学	商学部	（大崎准教授）
	亜細亜大学	経営学部	（西原准教授）
	亜細亜大学	経営学部	（福田専任講師）
	和光大学	経済経営学部	（大野准教授）
	神奈川大学	経営学部	（中見准教授）
	神奈川大学	経営学部	（行本准教授）
	駒澤大学	経営学部	（菅野教授）
	横浜市立大学	国際商学部	（柴田准教授）
	中部	名古屋学院大学	商学部
関西	大阪市立大学	経営学研究科	（圓丸准教授）
九州	福岡大学	商学部	（杉本教授）
	西南学院大学	商学部	（三井准教授）

### 【本リリースに関するお問い合わせ先】

一般社団法人 社会的健康戦略研究所 産学連携プロジェクト事務局担当 篠原  
e-mail : shinohara@kenko-senryaku.or.jp